

# 米倉教公の週間為替市場見通し

6/13 日週号

ドル/円予想レンジ 105.00 - 108.50 円

## 『日米政策会合と英EU離脱懸念に注意！』

### ■今週の市場動向：上下に振れるも上値重く、下値は堅かった

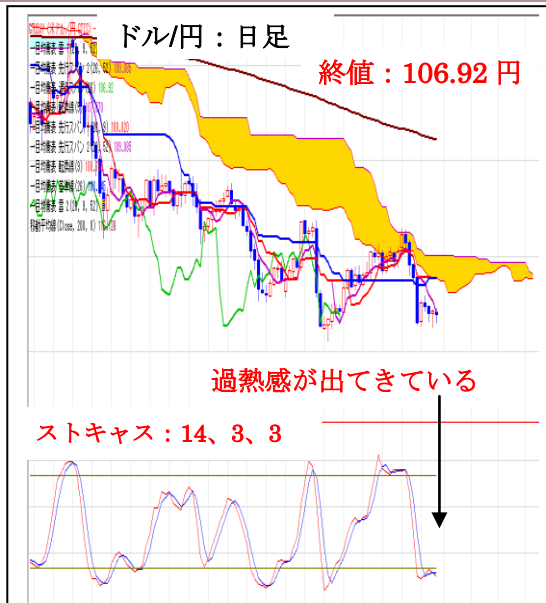
前週のドル/円の週足では、上ヒゲ小陽線引けとなり、狭いレンジ相場となった。週明けは米5月雇用統計ショックを受けたドル安の流れを引き継いで106.33円まで値を下げた。しかし、菅官房長官などの円高けん制発言や、NYダウが反発したため107.60円台まで反発した。7日は日本株が上昇したことで、107.13円まで上昇した。しかし、独長期金利が低下したことでユーロ/円の下落に伴いドル/円でも円高が進んだ。8日は英国のEU離脱懸念がくすぶるなか、NYダウの上昇を受けて107円台を回復したが戻りは限定的だった。9日は日本株の下落を切っ掛けに売りが再開し、欧州時間で一時106.24円まで下げ足を速めた。ただ、NYダウや日経平均先物が上昇したことで、ショートカバーが進み今回も107円台を回復した。週末10日は107.26円まで上値を伸ばしたが、欧米株が軟調だったことや、米長期金利の上昇、さらに英国の最新調査でEU離脱支持が残留支持を上回ったことが伝わると円買いが強まった。106.53円まで下落した後はショートカバーで持ち直した。

### ■来週の注目点：日米金融政策会合と英EU離脱懸念の行方に注意！

今週の注目は、日米政策会合となる。FOMCでは5月雇用統計悪化や英国の国民投票を控え利上げ見送りは織り込み済み。ただ、声明文やイエレンFRB議長の会見内容に注意が必要だ。日銀会合では、安倍首相の経済ブレーンである本田内閣官房参与、中原元日銀理事が、揃って6月の日銀緩和に期待を示している。一部では緩和を期待する向きもあるだけに結果公表前後の動きには要注意だ。このところ円高進行時でも、底堅さがあるのは追加緩和期待によるものと思われる。13日のAM11:00に中国における5月主要経済指標が発表される。貿易収支では中国の減速不安は一服となった。中国経済の悪化歯止めが注目される。英国のEU離脱を巡る国民投票を23日に控えてポンドや欧州債券の動向には引き続き注意が必要となる。

### ■テクニカル的な見解

6月7日付のシカゴIMM投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+14,837から+42,853へと円の買い持ち高は前週から大幅に増加した。米5月雇用統計ショックを受けて、投機筋の円買い・ドル売りが活発化した。一目均衡表の雲の上限上抜けに失敗し、雲の下限下抜け、転換線5日が上値抵抗ラインとなっている。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：14.16と%D：16.51と売られ過ぎの感が出てきた。ただ、気になるのは上値お切り下げ、下値を切り下げていることで、下値を切り下げるのなら5月3日の105.51円を下回る展開となりやすい。理論値圏での適正水準で、国際的に許容される中立レートである購買力平価では、OECDによる2015年ベースで1ドル=106.04円、IMFの2016年見通しで103.32円となっている。IMFの購買力平価以下まで円高が進んだ場合、政府による為替介入の可能性が高まる。



### ★先週の気になる出来事

世界的に長期金利が低下していて、マイナス金利が当たり前のようなおかしい状況となっている。ただ、この状況は、金融機関が時限爆弾を体内に抱え込んでしまった状況に等しい。世界的に金利が上昇してきたら、小さな金融機関は債券の含み損に耐えられず破綻の道を歩むことになる。本邦大手行でもプライマリーディーラーの資格を返上する話が出ているが、リスクを考えればごもっともな話だ。将来のリスクを考えると、やっぱり金買いとなりそうだ。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。